

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたくないとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。ただし、学会発表・論文化された後の申し出については、データを削除できない可能性はあります。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

奈良県の大動脈緊急症トリアージシステムスコアの構築に資する後ろ向き臨床研究

1. 対象となる患者さん

2023年11月～2025年4月の間に当院で胸痛の救急搬送を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 心臓血管外科 細野 光治

3. 研究の目的と意義

現在奈良県ではe-MATCHシステムを開発し、胸痛を有する患者さんが適切な治療を受けることが可能な適切な病院へ救急搬送を可能とする仕組みが確立されています。胸痛で搬送される疾患のなかで、大動脈緊急症(大動脈解離・大動脈瘤破裂・大動脈外傷など)は時間の経過とともに救命率が低下する予後不良の疾患群ですが、治療可能な病院が限られているために、救急医療体制の整備が救命率向上において重要です。大動脈緊急症の発生現場において、救急隊による適切な状況把握、把握した情報に基づく適切な搬送先病院の選定、搬送先病院との情報連携が必要となります。

このe-MATCHシステムは救急隊からのアンケート機能が追加され、後方視的ではありますが、搬送情報をより詳しく収集することが可能となりました。そこで、胸痛を症状とする救急搬送患者さんを対象に、各々のバイタルサインや症状を、救急隊員からアンケート機能を使用して収集し、大動脈緊急症と診断された患者さんのバイタルサインや症状との関係を調べることにより、大動脈緊急症を事前に診断するアルゴリズムを作成することを目的としています。

4. 研究の方法

胸痛を症状とする救急搬送患者さんを対象に、各々のバイタルサインや症状を、救急隊員からアンケート機能を使用して収集し、大動脈緊急症と診断された患者さんのバイタルサインや症状との関係を調べます。

5. 使用する情報

奈良県大動脈緊急症トリアージスコアの9因子

(胸痛の性質・意識消失・両上肢での血圧異常・ショック・高血圧の有無など)

診療情報：診断名・年齢・性別・既往歴、血液検査結果、CT画像、レントゲン画像、治療法、転帰情報など。

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長 細井裕司

7. 研究の実施体制

研究代表者

奈良県立総合医療センター 心臓血管センター 山中 一郎

当院の研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 胸部・心臓血管外科 細野 光治

共同研究機関と研究責任者

奈良県西和医療センター 総長 斎藤 能彦

奈良県西和医療センター 院長 土肥 直文

奈良県総合医療センター 副院長 川田 啓之

奈良県立医科大学 循環器内科 彦惣 俊吾

天理よろず相談所病院 救急診療部長 近藤 博和

市立奈良病院 副院長 堀井 学

高の原中央病院 循環器内科 片岡 一明

大和橿原病院 副院長 中嶋 民夫

高井病院 循環器内科 上田 一也

近畿大学奈良病院 講師 東儀 圭則

8. 外部機関への情報等の提供

この研究で使用する情報は当院でも保管しますが、以下の機関に提供します。提供する際は、患者さんのお名前等は削除し、個人を直接特定できないようにします。

機関名：奈良県総合医療センター

研究責任者：心臓血管センター 山中 一郎

提供方法：直接手渡し、郵送・電子的配信

<提供先の個人情報保護に関する情報>

提供先が講ずる個人情報の保護のための措置について
患者さんのお名前等は削除し、個人を直接特定できないようにします。また、データの
保管はアクセスに制限がかけられた、パスワードを必要とするPC内で保管されます。

9. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2025年10月31日

10. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、
個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会
や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

11. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 心臓血管外科 細野 光治

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051